

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。

<b>【研究課題名】</b>	アルブミン尿測定 of 臨床的有用性と医療経済的評価： J-CKD-DB-Ex を用いた検証	
1. 研究の目的と方法	<p>本研究では、全国規模の慢性腎臓病（CKD）に関するデータベース「J-CKD-DB-Ex」を利用します。このデータベースには、多くの医療機関から集められた検査結果や診療経過の情報が匿名化されたうえで登録されています。</p> <p>本研究では、新たに検査や治療を行うことはなく、すでに収集されたデータを用いて分析を行う（いわゆる二次解析）研究です。</p> <p>具体的には、次のような点を調べます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アルブミン尿（尿中のアルブミン量）と蛋白尿（尿中のたんぱく質量）を測定した方を比較し、それぞれがどの程度、腎臓病や心血管病などの悪化リスクを予測できるかを検討します。</li><li>・アルブミン尿と蛋白尿の値がどのように異なるか（差や比率）と、その後の病気の経過との関係を調べます。</li><li>・仮にアルブミン尿の測定を広く導入した場合に、医療費や健康状態の改善にどのような効果があるかを、シミュレーションにより検討します。</li></ul> <p>これらを通じて、アルブミン尿測定が腎臓病の早期発見や重症化予防にどの程度役立つか、また医療全体としてどのようなメリットがあるかを明らかにすることを目的としています。</p>	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	J-CKD-DB-Ex に2014年1月1日から、2022年12月31日までに登録された慢性腎臓病患者さん約28万人のうち、尿中アルブミンが測定されている約13000人。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	生年月、性別、外来受診日、入院日・退院日、受診科、病名、ICD10、診断日、疑いフラグ年齢、検査結果（血液検査、尿検査）、処方情報
	(4) 情報の取得の方法	本学の電子カルテデータを含む、全国規模の慢性腎臓病（CKD）に関するデータベース「J-CKD-DB-Ex」で収集し加工されたデータを使用します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。	

	試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科講座
		氏名	横尾 隆
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3)当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 准教授 長洲 一	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	<p>既存データベース(J-CKD-DB-Ex)から患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報 を削除した必要なデータのみ切り出しを行い、川崎医科大学から東京慈恵会医 科大学腎臓・高血圧内科へご提供頂いて使用します。電子媒体はパスワード管理 できるパソコン内で管理します。</p> <p>情報の利用または提供予定開始日：2025年11月頃～</p>		
<b>【問い合わせ先】</b>	<p>東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 研究責任者：教授 横尾 隆（よこお たかし） 窓口担当者：助教 佐々木 峻也（ささき たかや） 電話番号：03-3433-1111（内線 3221） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。